

# Futurability

待ち遠しくなる未来へ。

阪大病院

OSAKA UNIVERSITY HOSPITAL

## <ステートメント>

ひとりの人にとって、10年後が待ち遠しいこと。  
社会にとって、100年後が待ち遠しいこと。  
そんな世界にするために、医療に何ができるだろうか。

これから、人はますます多様な価値観を持つようになる。  
社会はそのひとつひとつを認めるようになっていく。

人の想いを第一に考える医療へ。  
様々な幸福感を適えられる医療へ。  
必要なのは、新たに生まれる課題に向き合い、新たな方法で解決し続けること。  
最先端の技術、地域コミュニティ、医学と医療の結びつき・・・

futurability

阪大病院は、いつの時代も、  
今だけでなく数十年先までを見通し、答えを出す。  
既存の枠組みでなく、一から可能性を考える。  
予想外の展開にも応える、ポテンシャルを育てている。

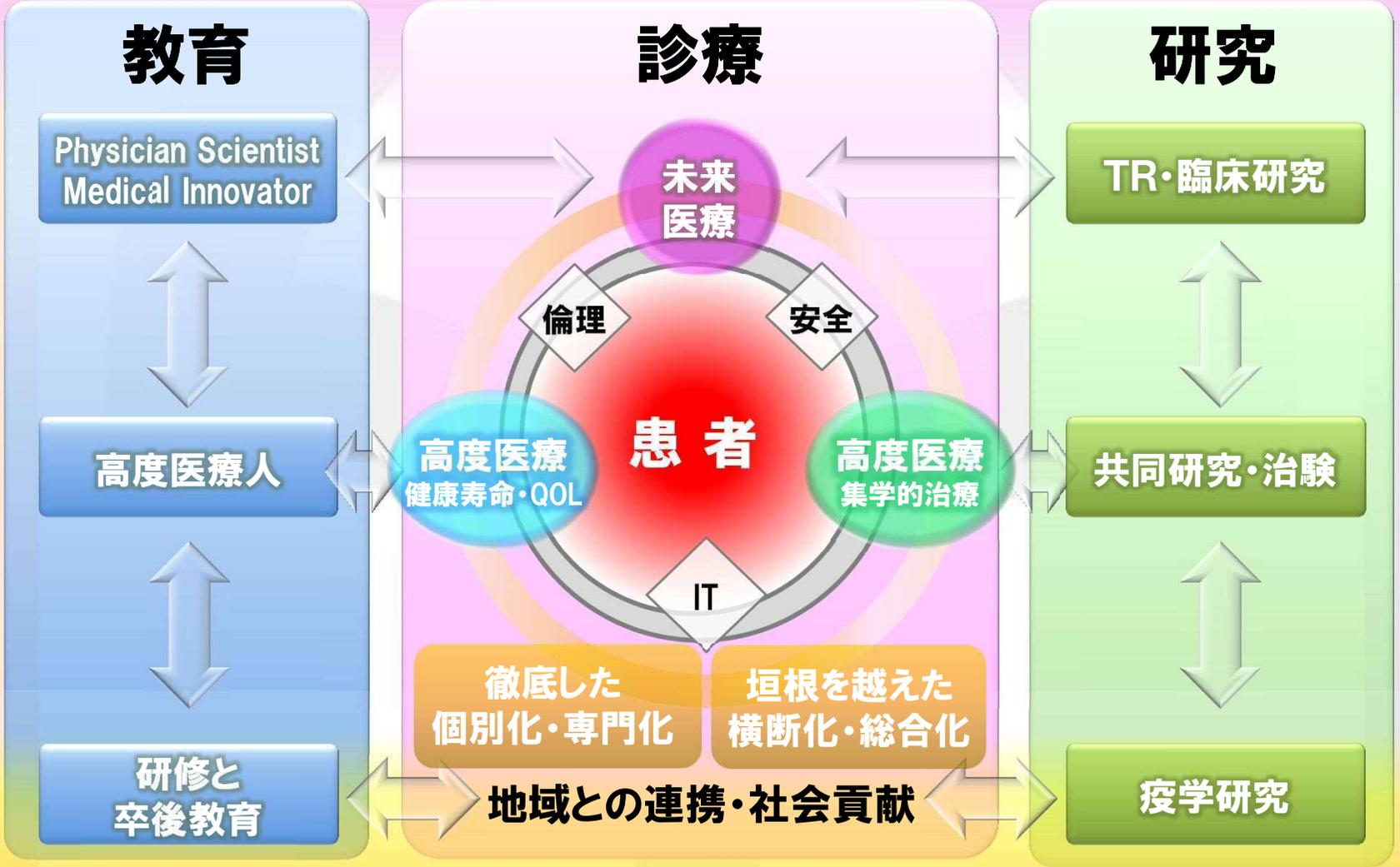
すべての人が、自分らしい未来を選択できるように。

# Futurability

待ち遠しくなる未来へ。

## 国際化

アカデミア連携



産学連携

## インテリジェントメディカルコミュニティ

大阪大学基本理念:地域に生き世界に伸びる

大阪大学医学部附属病院基本理念:良質な医療を提供すると共に、医療人の育成と医療の発展に貢献する

- インテリジェントメディカルコミュニティを通じて、地域を支える
- 垣根を越えた横断化医療、徹底した個別化・専門化医療のもと、世界をリードする高度医療を推進する
- Physician Scientist、Medical Innovatorを育成し、未来医療の発展・国際化に貢献する
- アカデミアの結集と産学連携により、橋渡し研究、臨床研究の世界的拠点となる
- 倫理・安全・ITが全てを支える

### 【診療】

- 未来医療:世界をリードする診療
  - ・難治性疾患に対する革新的医療
  - ・疫学、ゲノム情報に基づく未顕疾病対策
- 高度医療:QOL向上を目指した最先端医療
  - ・生命を脅かす重症患者に対する集学的治療
  - ・超高齢化社会に対応した健康寿命の延伸
  - ・低侵襲医療の拡充によるQOL向上
- 横断化・総合化と徹底した個別化・専門化: 2つの基盤
  - ・内科系・外科系の統合的対応
    - +臓器別専門性の更なる向上
  - ・感覚器・運動器・生殖器:個別化
    - +徹底した専門化(センター化)
- 多職種連携によるチーム医療

### 【教育】

- Physician Scientist/Medical Innovator:ボーダレスの教育
  - ・大学院研究科と病院とのボーダレス教育、全学との連携によるリサーチマインドの涵養
- 高度医療人:プラスの教育
  - ・優れた専門能力+他分野と柔軟に連携できる能力
  - ・すべての職種にプラスの経験を積む事ができる教育の場
- 研修と卒後教育:一体化した教育
  - ・優れた関連病院群との連携による一般臨床能力から高度専門医能力まで幅広い教育プランの提供
- 医療専門業務教育:多職種協働の教育
  - ・総合大学の力を生かした医療専門業務の開発とオンザジョブ教育(各種技士、各種コーディネーター、データマネージャ、生物統計、医療通訳など)

### 【研究】

- TR・臨床研究:未来医療を創る研究
  - ・創薬・デバイス・再生医療で全学の研究成果を活かした革新的医療の実用化
  - ・未顕疾病診断法の開発
  - ・臨床研究中核病院としての整備拡充(未来医療センター、データセンター、バイオバンクなど)
  - ・産学連携体制の強化による研究基盤の拡充
- 共同研究・治験:今と明日を見つめる研究
  - ・企業治験の活性化による日本企業の育成:関連病院や地域クリニックと共同研究体制の構築
- 疫学研究:足元を固める研究
  - ・関連医療機関との大規模研究の推進

### 【地域貢献・社会貢献】

- 診療:拠点としての貢献
  - ・災害拠点病院として、ドクターヘリを中心とした機動力、大規模災害への対応力の強化
- 教育:人材輩出による貢献
  - ・阪大病院の教育力を通じた地域との人材交流
  - ・アウトリーチ活動による市民や中高生への健康や医療に関する啓発
- 研究:成果還元による貢献
  - ・研究成果の還元とそれによる高度健康社会、未顕疾病対策の推進による社会貢献
  - ・地域医療機関の研究サポートのためのインテリジェントメディカルコミュニティの強化

### 【国際化】

- 医療のインバウンド、アウトバウンドへの国際展開
  - ・国際医療センターの機能強化
  - ・阪大発の先端医療の国際展開の推進
  - ・高度医療提供を目的とした外国人患者受け入れの推進
  - ・総合大学の強みを活かし、外国語学部をはじめとした全学で医療通訳士の養成に取り組み、国際化に貢献
  - ・海外の医療機関とのMOUに基づく、双方向性教育
  - ・低医療資源国に対する医療研修機会の組織的提供

### 【運営】

- 病院長を中心としたガバナンス体制
- 経営
  - ・安定的な経営基盤強化のための診療のハイボリューム化
  - ・経営効率を重視した標準化と個別化の両立
  - ・自律的経営のための制度設計・人材確保
- 診療体制
  - ・時代のニーズに応えるフレキシブルな病院構造
  - ・病診・病病連携を基本に、高度医療を中心とした外来体制の再構築
  - ・ダイバーシティに対応した適切な人員配置、環境整備
- 人事労務
  - ・人材確保のための適切なインセンティブを含めた給与体系の確立